

CONTENTS

まえがき 2

第1章 ニューヨークが教えてくれたこと

かつては「人種のはりつば」、今は「サラダ」のニューヨーク	12
ユダヤ人の街・ニューヨークと心理療法	16
昼は仕事、夜は授業、妊婦もいる大学院生	20
成功者も受けるセラピー	23
見知らぬ人が助けてくれる	27

第2章 グローバル化時代の親子と家族

日本文化では、親子関係が家庭の主軸となる	32
日本語は親子の分離を難しくする？	36
分離・個体化のプロセス—マーガレット・マラーの理論	39
保活、それともベビーシッター探し？	44
国際結婚、グローバル化する家族	48

第3章 多文化とメンタルヘルス

メンタルヘルスとは、究極「適応力」と「リソース」の問題？	54
非言語コミュニケーションとアートの力	58
グローバル化時代にこそ大切な、愛着理論	62
根深いジェンダーの問題とメンタルヘルス	65

多文化社会の中でのメンタルヘルスとは? 70

第4章 言葉はどれぐらい重要か?

「英語」がすべてではないのでは? 76

バラ色ばかりではない、バイリンガル 80

多言語・多文化主義のススメ 84

ナラティブというアプローチ 89

初めて出会った、黒人のおじさん 93

第5章 日本の中、日本の外のいろいろな文化

インバウンド、どう対応するのがいい？	98
「ハーフ」か「ダブル」か「ハイブリッド」か	103
アイヌ民族のこと	107
LGBTは「異文化」か？	112
日本の難民受け入れの可能性は？	117

第6章 多文化と多様性というチャレンジ

ニューヨークという立ち位置、小笠原という立ち位置	122
文化の違い、どうやって乗り越える？	127
キリスト教、イスラム教、仏教……宗教をどう「扱う」か	133
グローバル化社会にこそ生きる、女性の力	137

増加する外国人と、日本人のアイデンティティ再考
・
・
・
・
・
・
・
・
141

あとがき
参考文献
149 144